

令和4年度富士山静岡空港特定運営事業等評価結果

静岡県スポーツ・文化観光部

1 県の評価結果

<評価区分>○：適 △：是正勧告は要しないが、改善を求める ×：要是正勧告

対象	事業等		評価結果	
			評価区分	評価の考え方
要求水準の充足	事業全体に係る事項		○	新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい環境ではあったが、各事業を適切に実施している。
	空港運営事業	空港基本施設等運営等業務	○	国による定期検査の受検結果は指摘事項がなく、また、セルフチェックや日常的な点検も行われているなど、適切に実施している。
		空港航空保安施設等運営等業務		
		航空機給油施設運営等業務		
		空港用地運営等業務		
	旅客ビル施設等事業	旅客ビル施設運営等業務	○	各関係者への施設貸与状況及びその他施設の運営状況に問題はなく、適切に実施している。
		貨物ビル施設運営等業務		
		駐車場施設等運営等業務		
		空港展望施設等運営等業務		
浄化槽施設運営等業務				
環境対策事業	航空機騒音対策業務	○	要領等に従い騒音測定を実施し、県が行う地元説明等への協力など、適切に実施している。	
	航空機騒音測定施設維持管理業務			
附帯事業	就航促進・利用促進事業	○	旅客数の増加に向け、県と連携した路線誘致等を実施した結果、ベトナムチャーター便就航などが実現した。また、アクセスバス金谷線の運行を維持している。	
	地域連携事業	○	地元旅行業者や鉄道事業者、県、地元市町等と連携し、県内観光資源への誘客や空港の賑わいに向けたイベントの開催など、適切に実施している。	
その他義務事業	空港アクセス道路景観形成地維持業務	○	植栽管理状況に問題はなく、適切に実施している。	
任意事業		○	西側用地の段階的な開発に向けた取組やガソリンスタンドの運営維持など、適切に実施している。	
経営		○	国内線の航空需要は回復傾向が見られるが、国際線再開が年度末となったこと等により、赤字が継続している。厳しい経営状況であるが、借入は行わず、運転資金は確保されており、経営に問題は見られない。	
更新投資		○	投資の必要性を検討しながら、更新投資を適切に実施している。また、台風等で被災した箇所への復旧について迅速に対応した。	
任意事業		○	西側用地の段階的な開発に向けた取組などに加え、カーボンニュートラルに向けた具体的な検討を行っている。	

2 富士山静岡空港特定運営事業等評価委員会の意見

- ・当初提案した事業を行うことはもちろんであるが、その他の事業展開を積極的に実施していただきたい。また、免税売店の売上に依存することは経営リスクとなるので、それ以外の収入源を考えていただきたい。
- ・現在は観光交流での利用が主体であるが、県内企業は海外で多くの売上げがあり、人的交流も多い。ビジネス交流で空港が活用されることには大きな意味があるので、ビジネス旅客の開拓に取り組んでいただきたい。
- ・空と陸と海をつなぐ連携があると良い。連携がうまくいくと魅力的な空港になる。また、空港に来た後の移動も含めた全体の移動を一つのサービスとして考えていただきたい。
- ・更なる需要の掘り起こしに向け、キャッチメントエリアの拡大、二次交通の拡大に取り組んでいただきたい。
- ・山梨県をはじめとする周辺自治体との交流において、中部横断自動車道の効果は大きい。今後さらに効果が出てくる可能性があることから、空港もその恩恵を取り込めるように取り組んでいただきたい。
- ・脱炭素は国の重要施策になっていることから、積極的に取り組んでいただきたい。
- ・旅客取扱施設利用料（PSFC）は旅客のサービスのために徴収されるものであることから、どのように使われているかを利用者に報告していただきたい。
- ・ビジネスジェットは地域経済にプラスになる。特に欧米のプライベートジェット利用について、考えていただきたい。また、ビジネスジェットで来た方が、その後どのように移動するのも考えていただきたい。
- ・長期的にどのように人材を確保すべきか、外国人材をどのように活用していくかを考えていただきたい。また、空港をより身近に感じてもらえるよう、県内の学生を採用していただきたい。